

2006年7月25日

各 位

ダイセル化学工業株式会社

広島県大竹市における液晶表示向けフィルム用酢酸セルロース設備計画策定の件

ダイセル化学工業株式会社（本社：大阪府堺市、社長：小川大介）は、このたび、広島県大竹市の当社大竹工場に隣接する工業用地約10万㎡の公募に応募いたしました。

当社は、同工業用地を液晶表示向けフィルム用酢酸セルロースの増産用地として購入する計画であり、同地における設備投資計画を立案中であります。

液晶ディスプレイ市場の拡大に伴い、その材料である液晶表示向けフィルム用酢酸セルロースの需要も急速に増大しており、将来的にも飛躍的な需要の拡大が見込まれております。これに対応して、当社は、当社姫路製造所網干工場における液晶表示向け酢酸セルロース設備計画を策定し、2004年11月に公表いたしました。しかし、液晶ディスプレイ市場は当時の見通しを上回る急拡大を続けており、従来の計画のみでは需要家の供給要請に十分応えることができないと判断し、新たに広島県大竹市における設備計画の策定に入っております。本計画に基づく新設備建設は、広島県から分譲先として決定を受けた後に着工したいと考えております。

なお、既発表の当社姫路製造所網干工場における設備計画につきましては、広島県における新計画の実行により、計画期間を2009年以降まで延長する可能性はありますが、計画に大きな変更はありません。

以 上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

ダイセル化学工業株式会社 事業支援センター IR 広報グループ

電 話 : 03-6711-8121